



カーボンニュートラルへの挑戦を、
e-dashと加速させる。

かながわCO₂見える化トライアル

CO₂排出量の可視化・削減サービスプラットフォーム

「e-dash」のご案内

e-dash株式会社



社 名	e-dash株式会社
本 社	〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目8番18号 赤坂JEBL 6階
代 表 者	代表取締役社長 山崎冬馬
設 立	2022年2月7日
資 本 金	17億5,000万円
株 主	三井物産株式会社 みずほイノベーション・フロンティア株式会社 (株式会社みずほフィナンシャルグループの100%子会社)
事業内容	CO ₂ 排出量可視化・削減サービス プラットフォーム「 e-dash 」の開発・運営 カーボンクレジットのマーケットプレイス 「 e-dash Carbon Offset 」の運営

COMPANY
MISSION

Xを加速する。

SERVICE
MISSION

X脱炭素を加速する。



目 次

- 当社システムの特徴 / データ入力
- 入力データの可視化イメージ
- 排出量削減施策の概要



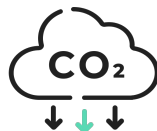
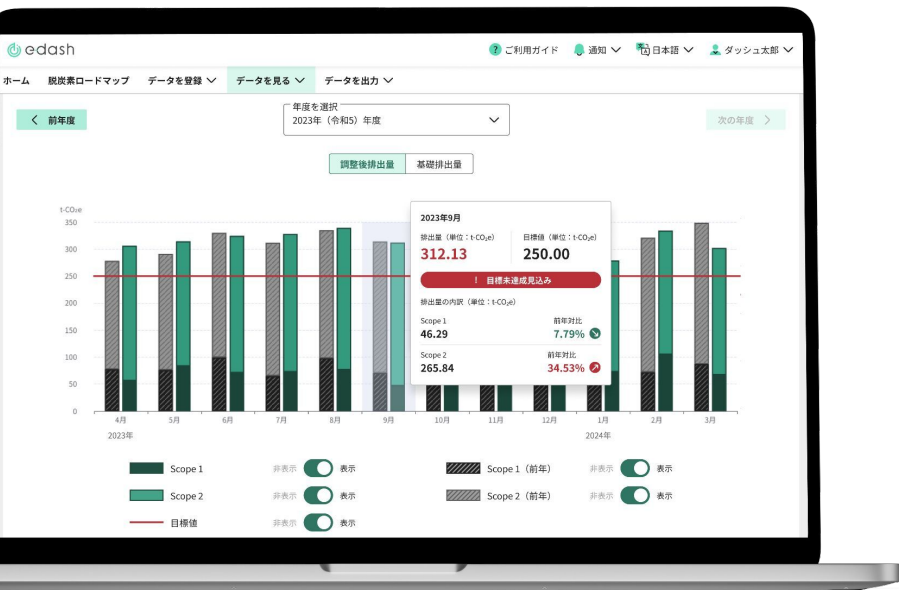
当社システムの特徴 / データ入力



サービス概要

5

企業や自治体のCO₂排出量の可視化から削減まで、総合的にサポートするサービスプラットフォーム



誰でも手軽に取り組める
CO₂排出量の可視化



取り組みの道標となる
CO₂排出量の削減目標の設定支援



取り組み方のアドバイザリーをはじめ
具体的なCO₂排出量の削減提案

表計算ソフト vs. e-dash

非財務情報として、持続可能な管理体制の構築が今後ますます重要に



● BEFORE



● AFTER

e-dashを用いると、表計算ソフトでの管理で
発生する様々な手順を一括で実現

属人化しない取り組み方を通じ
タイムリーに正確な情報を管理することで
「CO₂排出量の経営指標化」が可能



e-dashを使ったCO₂排出量の可視化（Scope 1・2）

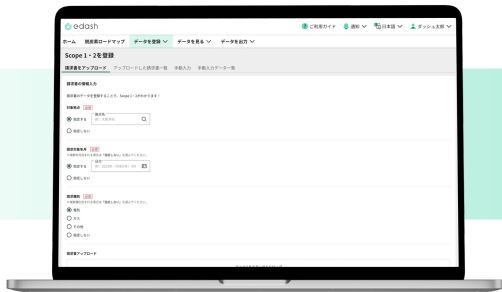
7

経験や専門知識を問わない、請求書をアップロードするだけで叶うCO₂排出量の可視化

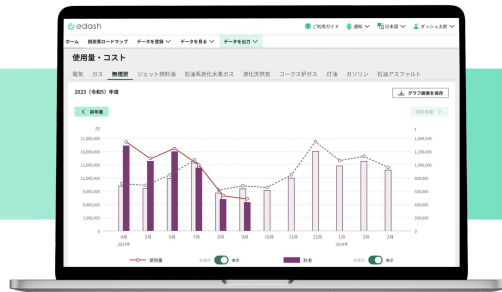


Scope 1・2

中小企業を含むすべての事業者による把握が望まれるScope 1・2について、
利用者は**エネルギー関連請求書をe-dash上へアップロードするだけで**完結する仕組みでご提供。



スキャンした請求書を
e-dashへアップロード



e-dashがエネルギー使用量・
CO₂排出量を可視化！



アップロード方法について

2つの方法でアップロードが可能です。

e-dash指定のExcelフォーマット



PDFファイル



※ご利用いただく際に、フォーマットを送付いたします。

※入力内容はキックオフミーティングにて丁寧にご説明させていただきます。

脱炭ゼロ株式会社

② 東京電力エナジーパートナー株式会社
返戻先 東京電力パワーグリッド株式会社
丸の内支社 (001)
0001-001-001

～おかけ間違いにお気をつけ下さい。～

毎度ご利用いただきありがとうございます。 **1** 令和 4 年 4 月分の電気料金等下記のとおり請求させていただきます。 **5**

脱炭ゼロ株式会社 丸の内本社 様

必要な項目

- ① 対象年月
 - ② 電力会社名
 - ③ 契約種別
 - ④ 使用量(kwh)
 - ⑤ 請求金額

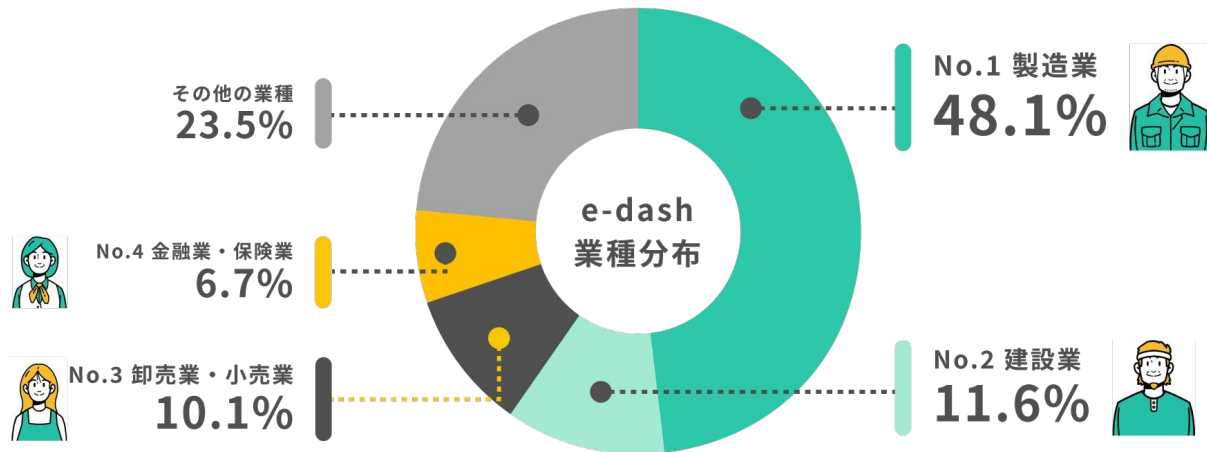
※対象年月は使用された月をご入力ください

※再生可能エネルギーをご使用の場合は、再生可能エネルギーの利用開始日、再生可能エネルギー率をExcelフォーマットメモ欄へご入力ください。

※請求書に電力小売事業者と供給会社の記載がある場合、小売事業者へ供給元へ確認ください。

e-dashを利用している企業は？

- サービス業
- 運輸業・郵便業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 不動産業・物品賃貸業
- 医療・福祉
- 情報通信業
- 農業・林業
- 生活関連サービス業・娯楽業



導入事例を掲載しています。こちらもぜひご覧ください。

[導入事例を見る](#)



入力データの可視化イメージ

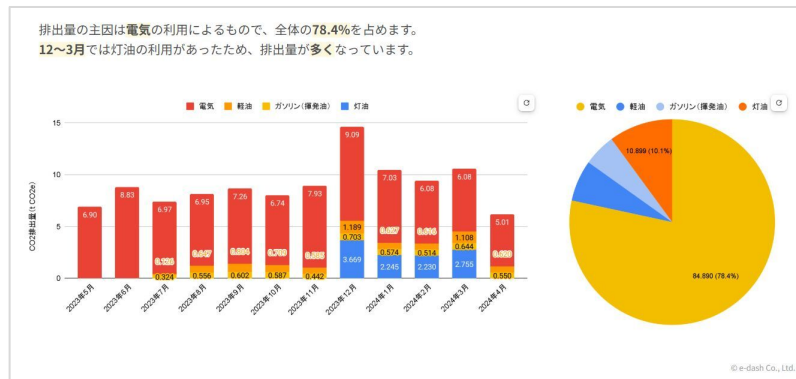
入力データの可視化イメージ

CO2排出量の可視化結果は「e-dash」システム上からも閲覧可能ですが、**排出量をよりわかりやすく理解できるように**、当社にて排出動向の総括レポートを作成いたします。可視化したデータをもとに季節ごとの排出量変動に関する分析が可能です。

排出総量



エネルギー別排出量



ポイント

- エネルギー別排出量データや拠点別データをもとに、当社にて排出傾向を記載
- 排出量の可視化データだけでなく、継続的に削減策が検討できるよう、具体的な削減手法についても記載



排出量削減施策の概要

まずは、電力を再エネ由来のものに切り替えることにより、排出量の削減が可能です。
施策として効果がある手法を、以下に列挙いたしました。



省エネの実施

省エネの余地がないか診断を実施し、空調や照明などの機器更新によりCO₂排出量を削減します。



太陽光発電の導入

太陽光発電の導入により消費電力を再エネ化することでCO₂排出量を削減します。初期費用不要のPPAモデルか自社導入モデルがあります。



電力契約の切り替え

排出係数の低い電力会社・料金プランに切り替えることで排出量を削減します。
(電気料金のコスト削減も検討可能です。)



環境証書の購入

FIT非化石証書・グリーン電力証書を活用することで電力の実質再エネ化によってCO₂排出量を削減します。



カーボンオフセット

J-クレジット・ボランタリークレジットにより削減しきれないCO₂排出量をオフセットすることができます。



EV車両の導入

EV車両の導入によりガソリンによる排出量を削減でき、充電に要する電気を再エネに切り替えることにより、更に削減が可能です。

「計算シート」に必要な機器情報等を入力頂くと、以下のように省エネ効果を報告書として提案します。



照明

既存照明	9.18	[t-CO ₂ e]
	21,144	[kWh]

LED照明	2.7	[t-CO ₂ e]
	6,214	[kWh]

約**70.5%**
削減



空調

旧型空調	35.8	[t-CO ₂ e]
	82,481	[kWh]

高効率 空調	26.57	[t-CO ₂ e]
	61,229	[kWh]

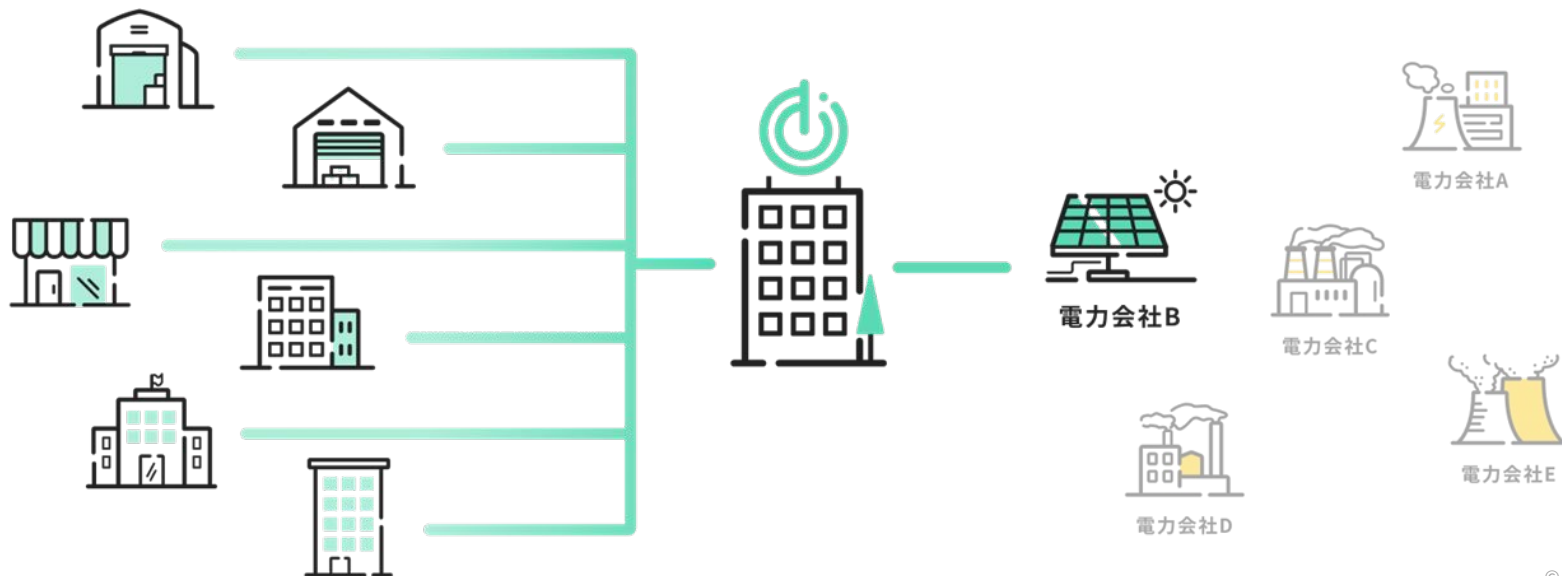
約**25.7%**
削減



電気の排出量算定には、環境省が開示している全国平均係数[t-CO₂e/kWh]を使用します。

e-dashでは、e-dashが自ら取次や媒介の役割を担い、お客様に代わって**複数の電力小売事業者から最適な見積り（複数のプラン）を集め**、切り替えを支援するサービスを行っています。

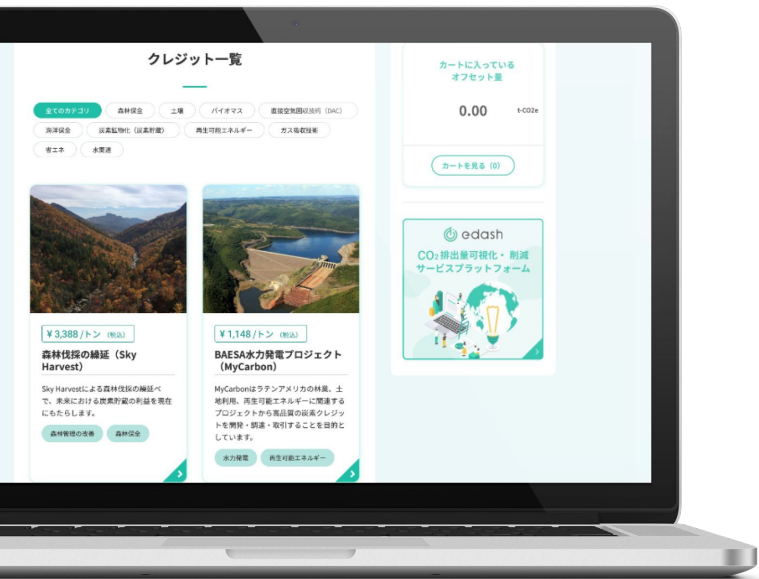
切り替えにあたっての疑問にお答えしながら、手続きにかかるお客様側（需要家様）の手間を削減し、「**電力コストの削減**」・「**CO2排出量の削減**」などお客様のご要望に応じた電力契約の見直しをサポートします。





【カーボンオフセット】 すべての企業に開かれた選択肢へ

2022年7月リリース：カーボン・クレジットのオンライン・マーケットプレイス



e-dash Carbon Offsetは、**高品質で信頼できるクレジットや証書を、必要な量だけ簡単に購入できる**マーケットプレイスです。



国内初のボランタリークレジットの
マーケットプレイス



国内民間初のJ-クレジットの
マーケットプレイス

<https://carbon-offset.e-dash.io>



e-dash

お問い合わせ

ご不明な点やご相談など、
お気軽にお問い合わせください。



success@e-dash.io



e-dashホームページ

<https://e-dash.io>



e-dash Carbon Offset

<https://carbon-offset.e-dash.io>